いちかわの未来 1

子どもと語る市川の未来

▲写真左から遠藤彩芽(あやか)さん、村越市長、飯田日菜多(ひなた)さん、中澤拓望(たくみ)さん。

今回の広報いちかわは、新春特別編。「子どもと語る市川の未来」と題して、村越市長と子どもたちの座談会をお届けします。参加した子どもたちはみなさん大和田小学校6年生です。いったいどんな話が飛び出すのでしょうか。

問☎712−8632広報広聴課

—みなさんあけましておめでとうございます。まずは自己紹介をお願いします。

遠藤　遠藤 彩芽です。将来の夢は新体操の選手になることです。

飯田　飯田 日菜多です。将来の夢はスタイリストになることです。

中澤　中澤 拓望です。将来の夢は医者になることです。

村越　市長の村越です。今日はよろしくお願いします。

テーマ❶ 市川市のココが好き

—みなさんは地元で一番好きな場所はどこですか。

遠藤　好きな場所は公園と図書館です。

村越　どこの図書館に行っているの？

遠藤　中央図書館です。

村越　どんな本を読むんですか？

遠藤　最近は哲学の本です。子ども向けの。

一同　おおーっ。

飯田　私も公園が好きなんですけど、プラネタリウムもすごく好きです。

中澤　現代産業科学館の（夏に行われる）プラネタリウムが面白い。

村越　みなさんがこうした文化芸術にしっかりと興味を持ってくれているのは、とっても素晴らしいことですね。将来に希望が持てます。市川市のいいなと思うところはどこですか？

遠藤　花や木と触れ合えるところがたくさんあるのと、梨がおいしいのと、あと公園がたくさんあるところです。

植物と触れ合える、安全な街になってほしい。

遠藤彩芽さん

友達と集まれる場所がたくさんあるのがうれしいです。

飯田日菜多さん

飯田　お祭りが多いところと、遊び場がたくさんあるところと、スーパーがたくさんあって便利なところもいいと思います。

中澤　自然が多くて都心へのアクセスが良いところです。市長さんはどんなところが好きですか。

村越　やっぱり緑も海もあり、東京に近くて、便利。そして歴史も文化もあるところですね。

飯田　海が近いと、水産物がたくさんとれるからいいなって思う。

村越　魚を食べるのが好きなんですか？

飯田　いいや、嫌いです。

一同　（笑）

村越　魚は食べたほうがいいよ。今は嫌いでも大人になったらきっと食べられるようになるよ。

テーマ❷ 市川市の未来

—これからみんなが大きくなる中で、市川市は今後どんな街になると良いのでしょうか。

遠藤　最近建物が多くなってきて、花や木が少なくなってきたので、もっと建物が増えても、花や緑が残っている街になってほしいです。

村越　私も市川市は緑が多いように見えて、意外と少ないと思っています。アイ・リンク展望施設に行くとね、街の様子がよく見えて、緑があまりない場所があるのもよく分かります。緑地を増やして、みなさんの心が安らぐような街づくりをやりたいですね。みなさんも手伝ってください。

遠藤　花や木が多い方がにぎやかに見えるので、協力したいです。

村越　ありがとう。

飯田　私は友達と遊びたいので、住宅街だけどショッピングモールが多くて、みんなが楽しめて、便利な街になってほしいと思います。

村越　さすがスタイリスト志望ですね。ネットで買い物することが増えているけれども、お店に行っていろんなものを選ぶのは楽しいですよね。洋服屋さんとか、食べ物屋さんとかいろんな商売や、新しい店を開いてくれる人を、一緒にたくさん集めたいですね。

飯田　みんなで洋服を選ぶのはすごく楽しいので、そういう人集めもやりたいなって思います。

中澤　僕は古い市川市の文化と新しい市川市の文化が融合した、家族や子どもが住みやすい街になってほしいです。古い文化が失われてきているので、それを大事にしながら、新しいものも取り入れて、住みやすい街にするといいと思います。

▲大和田小学校も亥（い）年生まれ（昭和58年4月開校）

村越　古い文化を大切にしながら、新しいものを取り入れていくというのは、本当にその通りで、市役所の職員みんなで取り組んでいることですので、とってもありがたい意見だと感じました。どういう伝統を、中澤さんは守りたいと思いますか？

中澤　商店街も少なくなっているので、地域の祭りなどが受け継がれているのか心配です。

村越　市川市には、例えば行徳神輿(みこし)というすごい神輿を作っている人たちがいて、独特の担ぎ方などの文化があるから、たくさんの子どもたちに神輿を担いでもらいたいですね。

飯田　新しい技術を取り入れるなら、どういうところに取り入れてみたいですか？

村越　そうですね。まず、学校ですね。公立の学校でも、私立の学校でやっているような新しい取り組みや、子どもたちの習熟度に合わせて勉強が進むような教え方をICT（情報通信技術）を使ってできると思うので、子どもの個性に合わせた教育ができるように検討しています。

中澤　公立の学校にもそういう技術が入ってくると、すごく変わるんだろうなって思います。

村越　ICTの力を使って、困っている人を助けたい、生活をしているうえでのちょっとした不便を解決できるようにしたいと思っています。

遠藤　私も技術の進歩はすごいと思うので、ぜひ実現させてほしいです。

村越　はい、頑張ります。

ICTが進んで手間や不便がなくなるのはいいことだと思う。

中澤拓望さん

—最後に村越市長から3人にメッセージを。

村越　３人ともとてもすてきな夢を持っています。夢を実現するというのはなかなか大変なことで、失敗することもたくさんあると思います。それでも、諦めないということが、とにかく大事です。挑戦し続ける。失敗を繰り返しても諦めないことが成功するということだと私は思っています。人生は長いので、諦めずに頑張り続けてください。

座談会を終えて

これからの未来を担う子どもたちが、しっかりとした考えを持ちながら成長していることを頼もしく思うとともに、子どもたち一人ひとりが力を十分に発揮して夢をかなえていくことができる、そんな教育が必要だと改めて感じました。自分らしく学べる環境や地域全体で子どもたちを支える取り組みをさらに整えていきたいと考えています。

この対談は市広報番組「マイタウンいちかわ」でも見ることがきます。
4日（金）まで　デジタル11ch.J：COM市川（ケーブルテレビ）午前9時、正午、午後8時、11時
7日（月）から　市公式YouTubeチャンネル（左記2次元コード参照）